

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 4 区分

【発行日】平成20年3月6日(2008.3.6)

【公表番号】特表2003-514985(P2003-514985A)

【公表日】平成15年4月22日(2003.4.22)

【出願番号】特願2001-529478(P2001-529478)

【国際特許分類】

C 2 3 C 10/28 (2006.01)

C 2 2 C 14/00 (2006.01)

C 2 3 C 4/18 (2006.01)

C 2 3 C 14/14 (2006.01)

C 2 3 C 30/00 (2006.01)

【F I】

C 2 3 C 10/28

C 2 2 C 14/00 Z

C 2 3 C 4/18

C 2 3 C 14/14 D

C 2 3 C 30/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月10日(2008.1.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 6】 層が 0.5 ~ 1.5 原子%、好ましくは 5 ~ 10 原子%のクロム含有量を有する、請求項 5 に記載の構成部材。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 7】 請求項 1 ~ 4 のいずれか一つに記載の構成部材の表面に層を造る方法において、以下の

- 最終組成が三成分の $Ti_5Al_3O_2$ - 相に相当し、ただしチタンの一部が Ag に交換される様に、Ti、Al および Ag の混合物を構成部材の表面に適用するという段階を有する、上記方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 9】 以下の

- 40 ~ 60 原子%、特に 48 ~ 55 原子%の Al および 0.5 ~ 1.0 原子%、特に 1 ~ 3 原子%の Ag を有する銀含有のチタン / アルミニウム合金を製造し；
- 該合金を構成部材の表面に適用して層を形成する

各段階を含む、請求項 7 または 8 に記載の方法。